

医療法人芙蓉会 南草津病院

訪問リハビリテーション情報誌

みなりハ

第27号

発行月 2018年10月

今年の夏はうだるような暑さで、クーラーが切れない日々が続きました。季節の変わり目につき、服装の調整など難しい時期ですが、風邪など体調を崩さないようにお過ごし下さい。

さて、秋と言えば、収穫の秋ですね。秋は1年の中で最も旬の食材が豊富です。みなさんは秋の食材をいくつ知っていますか？秋刀魚をはじめ、鮭、さつまいも、しいたけ、柿、梨、銀杏など、さまざまな食材がありますね。秋の食材はビタミン、ミネラル、食物繊維が豊富で夏場の疲れをとる働きがあるとわれています。秋の食材をとり、夏の疲れをとりましょう。



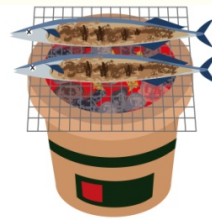
ぶどう

動脈硬化・がん予防、
眼精疲労改善



さといも

胃・腸の働きの補助
生活習慣病の予防
便秘改善



秋刀魚

動脈硬化・高血圧防止
記憶力低下防止



かぼちゃ

免疫を高める
視力を正常に保つ

「第4回ケアマネジャー向け勉強会のお知らせ」

テーマ「廃用・誤用・過用について」

日時 10月16日(火)受付 17:30～ 時間 18:00～19:30

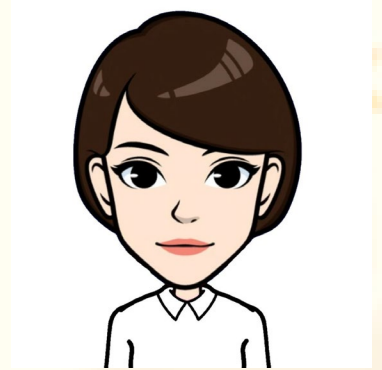
「廃用」はよく聞く言葉ではありますが、「過用」「誤用」についてはご存知ですか？
ご依頼頂いた利用者様で「別のところに問題点があった」「介入してみたら意外なところに問題点が潜んでいた」など、事例を交えリハビリ職の視点でご説明させていただきます。

み な り ハ 通 信

『訪問リハビリテーションに新しい仲間が加わりました！』

H30年8月から新たに作業療法士1名(女性)が訪問リハビリテーションスタッフに加わりました。女性の作業療法士が加わるのは約6年ぶりです！お困りのことがあればいつでもご相談ください！

はじめまして。佐野優子と申します。
福井生まれの福井育ちですが、大学から京都に住んでいたのので、関西がすっかり長くなりました。
今はリハビリの仕事をしていますが学生時代は日本史の勉強をしていました。今でもお寺や神社へ行ってご朱印を集めています。
まだまだ未熟ですが、どうぞよろしくお願い致します。



『下肢装具を見直してみましょう！』

今回は下肢装具について紹介したいと思います。

「最近、装具をつけると足が痛くなる」「装具がゆるくなった気がする」など、ふと思うことはありませんか？装具は立ったり歩いたりするのに欠かせない“脚の機能をサポート”する大切なものです。使い続けるとどうしても古くなったり壊れたりすると不都合が出てきます。皆さんの下肢装具はどのような状態でしょうか？

下肢装具は主治医の判断や処方により作製するかどうか決まります。実際に下肢装具を修理したり作製するのは義肢装具士の役割です。私たち訪問リハビリは動作を一緒に確認しながら下肢装具がお身体の状態に適しているかどうか評価をする役割を担います。

最近、下肢装具を作製されたOさんを紹介したいと思います。Oさんは約5年間同じ装具を使い続けておられました。とても頑張り屋の性格で、訪問リハビリでは坂道や階段、砂利道なども積極的に歩く練習をされています。頑張って歩く練習をされた分、下肢装具は古くなり、固定力が弱まってしまいました。

その事をおかかりつけ医の先生に相談した結果、新たに下肢装具を作製する事になりました。

下肢装具にはたくさんの種類があり、それぞれの身体の状態や用度によって作製する装具を選択します。Oさんも様々な装具を試されましたが、今まで使用していた装具が一番お身体の状態にあっていたので、同じものを作製する事になりました。新しい装具と一緒に外を歩くのが楽しみですね。

皆さんも一度装具を見直してみてください。気になることがあれば訪問スタッフにお尋ねくださいね。